

石見銀山学習



2007年に世界遺産に登録された石見銀山。昔の街並みや間歩を散策することにより、江戸時代の文化や暮らしの様子に触れることができます。

活動のねらい

- ・むかしぐらし体験で昔の生活を体験することにより、日本の伝統文化を学び、その価値や面白さに気付く。
- ・世界遺産である石見銀山の史跡や町並みを見学することにより、継承されてきた銀の採掘技術を学ぶ。
- ・地域で守ってこられた美しい景観や自然を肌で感じる。

教科との関わり

第5学年・家庭科「伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方」
第6学年・社会科「江戸幕府と武士による政治の安定」

一斉実施可能人数	30人	活動季節・条件	通年
所要時間	6～7時間(車で片道40分)	実施場所	世界遺産 石見銀山
主な対象	小学校中学年～		
指導について	・熊谷家住宅かまど体験指導員あり ・銀山ガイドの会による街並み見学ツアーが可能		

活動の概略

世界遺産「石見銀山」での活動プログラムです。以下の体験や見学が可能です。

①むかしぐらし体験(かまど体験)【熊谷家住宅】

むかしぐらし体験とは、国の重要文化財に指定されている熊谷家住宅(約200年前に建築された建物)において、台所のかまどを使ってご飯を炊いたり、七輪を用いて魚を焼いたりといった昔の暮らしの生活体験ができるプログラムです。体験を通して今の生活にはない日本の伝統的な住宅の持つ価値や面白さ、奥深さを知ることができます。

②石見銀山街並み見学【龍源寺間歩】【銀山ガイドの会】

江戸時代の武家屋敷や代官所跡、石見銀山で栄えた豪商・熊谷家住宅など、歴史的な建造物や文化財が並び、当時の面影を残す大森の町並みを散策。

「龍源寺間歩」は1715年に開発された坑道で、大久保間歩に次いで長く600mもあります。「間歩」とは銀を採掘した坑道のことをいいます

③世界遺産センター見学【世界遺産センター】

石見銀山の歴史や鉱山と暮らしの学習施設。

ガイドスコーナー、遺跡立体模型や遺跡クイズ等様々なプログラムでより深く石見銀山を体感できます。

④石見銀山資料館見学【石見銀山資料館】

石見銀山領の行政を司った国の史跡にも指定されている代官所跡。門番の詰め所や仮牢などを見ることができるほか、現在資料館となっている建物は、明治35年に建てられた旧邇摩郡役所をそのまま利用しています。絵巻物や古文書、銀鉱石や精錬関係の道具などが展示されており、石見銀山の歴史を追体験できます。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

- ・無線機 ・携帯用救急バッグ(原則として1団体に1個)

利用者や団体が準備する用具・材料

- ・野外活動にふさわしい服装(長袖、長ズボン、帽子) ・雨具 ・水筒 ・ハンカチ(またはタオル) ・エプロン ・軍手
- ・はきかえ用の靴下(熊谷家住宅見学時に必要)

料金

学習にかかる費用の補助が受けられます(学校団体のみ)。

石見銀山基金事業石見銀山学習補助金において、交流の家から石見銀山までの往復のバス借上げ料、体験活動費(熊谷家住宅の羽釜体験の体験料など)、入館料、事務費等、学習に要する費用が補助対象となります。事前にNPO法人石見銀山協働会議事務局(TEL:0854-88-9123 FAX:0854-88-9124 メール:info@ginzan-npo.jp)までお問い合わせください。(手続き締切りや料金上限があります。)

NPO法人石見銀山協働会議HP:<http://ginzan-npo.jp/>

熊谷家住宅 TEL:0854-89-9003

- 入館料ほかに「かまど体験」では食材費と体験料が必要です。
 - 食材費は石見銀山基金事業石見銀山学習補助金の補助対象外となり、大人も小人も実費負担が必要です。
 - 学校の教育活動のときは、入場料の減免を申請できます。
 - 引率者は、入館料の減免対象外となり、入館料が必要です。
- ※入館料やかまど体験に関わる料金の詳細は、電話やHPで直接ご確認ください。

龍源寺間歩 TEL:0854-89-0347

- 学校教育の一環のときは、大田市に全額免除の申請ができます。
- ※入館料全額免除については、電話やHPで直接ご確認ください。

銀山ガイドの会 TEL:0854-89-0120

- ガイド料が必要です。
- ※料金は、事前に銀山ガイドの会に直接お問い合わせください。

石見銀山世界遺産センター TEL:0854-89-0183

- 学校が編成した教育課程に基づく活動のときは、観覧料全額免除の申請ができます。
- ※観覧料全額免除については、電話やHPで直接ご確認ください。

石見銀山資料館 TEL:0854-89-0846

- ※観覧料については、電話やHPで直接ご確認ください。

当日までの流れ

- | | |
|-------------------|---|
| ①利用団体から利用施設への事前連絡 | 体験やガイドを依頼するときは、事前に各施設に連絡をお願いします。 |
| ②確認表の送付 | 確認表をHPからダウンロードしていただき、当所までメール (sanbe-suishin@niye.go.jp) やFAX (0854-86-0458) でお送りください。

※ 入所後の打合せはありません。 |

★石見銀山基金事業申請の流れ(利用団体で申請をお願いします。)

- | | |
|------------------------|---|
| ①要望書の提出 | 要望書をNPO法人石見銀山協働会議事務局に郵送又は持参で提出する。
※要望書の様式は、NPO法人石見銀山協働会議HP: http://ginzan-npo.jp/ からダウンロードください。
※事業実施の1か月前までに申請をお願いします。 |
| ②要望書選定結果の通知 | 要望書提出後おおむね10日以内にNPO法人石見銀山協働会議から選定結果の通知が届きます。 |
| ③大田市石見銀山基金事業費補助金申請書の提出 | 申請書をNPO法人石見銀山協働会議事務局に提出する。
※申請書の様式は、NPO法人石見銀山協働会議HP: http://ginzan-npo.jp/ からダウンロードください。
※申請書の提出は、選定結果通知後10日以内をお願いします。 |
| ④研修の実施 | 交付決定通知書をNPO法人石見銀山協働会議から受け取り、研修を実施する。 |
| ⑤事業終了後の関係書類の提出 | 「実績報告書」「活動成果」をA4用紙2枚にまとめNPO法人石見銀山協働会議事務局に提出する。
「補助金請求書」をNPO法人石見銀山協働会議事務局に提出する。 |

研修の流れ

- | | |
|------------|------------------------------------|
| ①事前学習 | 事前に単元の関連部分を学習しておくこと、より見学の効果が高まります。 |
| ②移動 | 車やバスで石見銀山に向かいます(片道約40分)。 |
| ③銀山での体験・見学 | 現地で研修を行います。 |
| ④移動 | 車やバスで交流の家に向かいます(片道約40分)。 |
| ⑤振り返り | 感想や新たに生じた疑問等をまとめる。 |

安全対策・環境への留意点

- ・熱中症対策のため、帽子、水分は必ず持参しましょう。

備考

- ・石見銀山地内(代官所ひろば及び石見銀山公園)の乗降場を利用するときは、大田市観光協会に予約(有料)が必要です。大田市観光協会(TEL:0854-88-9950)まで事前にご連絡願います。
- ・団体バスを利用して「石見銀山世界遺産センター」をご見学する場合は、「石見銀山世界遺産センター」の専用駐車場(無料)を利用できます。専用駐車場を利用するときは、「石見銀山世界遺産センター」(0854-89-0183)に事前に予約願います。